

山陰海岸ジオパーク推進協議会ホームページを中核としたSNS、ARアプリ等の活用

Dissemination of the charm of San'in Kaigan UNESCO Global Geopark through SNS, especially by Facebook.

*植田 修平¹、松原 典孝²

*Shuhe Ueta¹, Noritaka Matsubara²

1. 山陰海岸ジオパーク推進協議会、2. 兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント研究科

1. San'in Kaigan Geopark Promotion Council, 2. Graduate School of Regional Resource Management, University of Hyogo

山陰海岸ジオパーク推進協議会ホームページを中核とした、Facebookでの情報発信、エリア内の体験メニュー検索ポータルサイトの運用、AR観光ガイド多言語アプリの運用などについて、今後の展望を交え紹介する。

Facebook Pageを活用したジオパークのアウトリーチ Outreach activity for geoparks using Facebook Page

*天野 一男¹、細井 淳²

*Kazuo Amano¹, Jun Hosoi²

1. 日本大学文理学部自然科学研究所、2. 産業技術総合研究所地質調査総合センター地質情報研究部門

1. The Institute of Natural Sciences, College of Humanities and Sciences, Nihon Univ., 2. Geological Survey of Japan, Institute of Geology and Geoinformation, AIST

近年、ジオパークの認知度は高まってきているものの、一般には十分に浸透していないというのが現状である。本来、ジオパーク事業は産・官・学・民の密接な連携によって草の根的に展開することが求められている。そのためには、ジオパーク事業の活動内容に加えて、その意義、基本的思想などが市民一般に広く伝えられることが必要不可欠である。マスコミを通じてのアウトリーチも重要であるが、SNSを活用して直接的に市民に情報を発信することはより効果的と思われる。

茨城県北ジオパークでは、ウェブサイトとFacebook, Twitterなどを連動させて、情報発信を続けてきた。特に、FacebookとFacebook Pageを連動では、成果を上げてきている。ページへの「いいね」は、2017年1月現在で798に到達している。また、個々の記事への訪問者も2000件を越えることがあり、確実に発展している。今回は、2016年から2017年の経過と課題について報告する。

キーワード：Facebook Page、茨城県北ジオパーク、SNS

Keywords: Facebook Page, North Ibaraki Geopark, SNS

位置情報を用いたSNSログデータのジオパークへの活用可能性

Using SNS Log Data in Understanding Geopark Visitors

*田中 誠也^{1,2}、磯田 弦¹、桐村 喬³

*Tanaka Seiya^{1,2}, Yuzuru ISODA¹, Takashi KIRIMURA³

1. 東北大学大学院理学研究科、2. 十勝岳ジオパーク推進協議会、3. 皇學館大学

1. Graduate School of Science, Tohoku University, 2. Tokachidake Geopark Promotion Council, 3. Kogakkan University

ジオパークでは特定の建造物や観光名所だけではなく、風景や場所も観光資源になりうる。そのため、ガイド等のジオパーク関係者が同行した場合は行動を追跡することができるが、個人でジオパークエリア内に来訪した場合はどこにどれだけの人を訪れ、何をしていたかを把握することは難しい。このような行動の分析はアンケート調査や聞き取り調査を行うのが主流であるが、どちらも先験的に定めた場所に関する情報しか得られず、認識されてこなかった風景や場所を把握するのが困難であるのが現状である。ジオパークにおいても、アンケート調査や聞き取り調査により行動の分析を試みている先行研究(例えば;伊藤ほか 2015,松木ほか 2016)はあるが、上記の問題は解決できていない。

本発表では、十勝岳ジオパーク(美瑛・上富良野エリア)構想の指定エリアである美瑛町・上富良野町を対象に、観光客がどのように行動しているのかを、SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)の1つであるツイッターの位置情報付きの投稿データを用いた分析手法について提案する。

まず、ジオパーク構想のエリアである美瑛町・上富良野町で位置情報付きの投稿をしたことのある他地域のユーザーを対象とし、そのユーザーが投稿した地点を美瑛町・上富良野町内のツイート及び全国のツイートを2つの視点から分析する。まず、美瑛町・上富良野町近辺のユーザーを除外するために田中(2015)のロバスト推定法を用いた日常行動圏の推定を行い、美瑛町・上富良野町への他地域からの来訪者の地域的特性を把握する。そして、来訪者と地域住民を区別したうえで、来訪者の美瑛・上富良野地域内での訪問先を特定する。以上のように抽出した来訪者の訪問先情報を「保護・保全」「地域振興・観光」「防災」といった多方面へどのように貢献できるか検討していく。

[参考文献]

伊藤英之,鈴木正貴,佐藤凌太,杉本伸一,関博充 2015. インターネットアンケートを用いた三陸ジオパークの顧客獲得に関する研究 地学雑誌 Vol.124 No.4 561-574

田中誠也2015. SNSログデータを活用したアニメ聖地巡礼者の行動分析:九州での活用可能性 九州経済調査協会月報: 69(842), 2-7.

松木駿也,久利美和,磯田弦 2016 ジオパーク/ジオツーリズムの観光客ニーズ調査 2016年度日本地理学会春季学術大会 要旨集

キーワード: ジオパーク、ジオツーリズム、SNS、行動分析、ビッグデータ

Keywords: Geopark, Geotourism, Social Networking Service, Behavior Analysis, Big Data